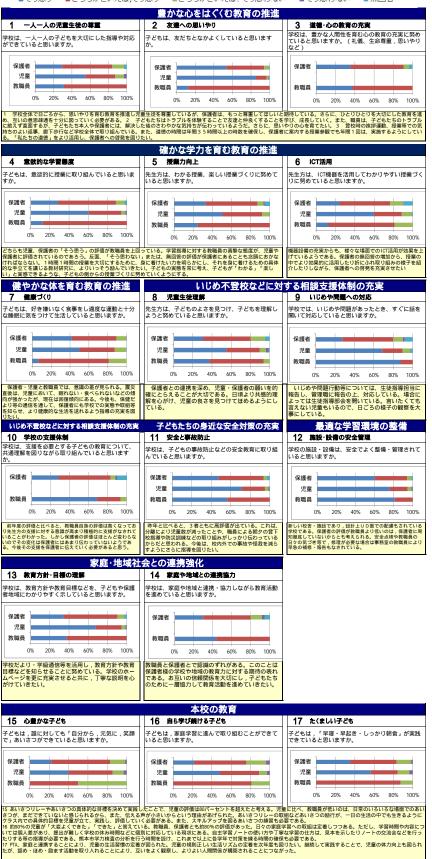
平成28年度 自己評価書·学校関係者評価書

■そう思う■どちらかといえば、そう思う ■どちらかといえば、そう思わない ■そう思わない■無回答



来年度の具体的な取り組みについて

本校教育目標の3つに関してより具体的な方針を提示することができたことにはり、児童・保護者、教職員ともに増殖な目標をもとに連携して取り組むことができた。 学習面では、全員参加のわかる授業づくりを今後も進め、教材研究を続けていくとさもに、学びノートを中心とした学力充実と支援が必要な状況の児童の生活習 の確立と学習後、そして個にのじた学習の更なる徹底を図っていく。 地域の声からは、児童のあいさつをほめていただくことが多いが、校内でのアンケート調査では「よくできている」の数値が上がっていない状況にある。生徒指 部や児童会での取り組みた近れ、PTAや均保中連携など地域の諸団体に連携を図り、更に基本的生活習慣の登書を図っていく。 小中連携でよつの共通要接項目を設定し取り組んでいる。今後も家庭学習の充実を図りながら、個に応じたもの細かな指導の工夫改善に努めたい。 体力向上として、年間指導計画を見重したりはカブン(り月間を設けたりして、楽しみなから児童の体力向上に取り組んだ結果、児童の代力面の向上が特に女子の Bで見られてきた。今後は、運動場の改修工事が完了するので、これまで以上に運動場や体育館の利用がしやすくなるので、さらに魅力的な取り組みにしていきた

学校関係者評価

接業参製に参加して感じることは、先生たちがわかりやすい検索づくりへの限鉛がすばらしく、子どもたちも楽しく授業に参加していた。 朝の早い時間から登攻する子どもたちの様子をみると、運動様で多くが遊んでおり、子どもたちが運動がきであることがわかる。 校謎の『自主・協働・感謝』は、地域への思いや子どもたちらへの思いのこもったものでよかった。高学年の子どもたちが頑張っていることを校風としてうまくつ ねいていくことが大切であると感じている。 自成クラブに違ってくる子どもたちが、学校や学級のこと、先生たちのことをよく話してくれるので、学校が好きな様子がうかがえる。 運動会や音楽会など、昨年までの児童飲が半分になったことで、時間的にも空間的にもかとりがあり、子どもたちがのびのどに活動していてすばらしかった。 痛本地震があり、健田西心学校に避難してころれた多くの方くが音われていたのは、「すばらしい学校が勝及して本当によかった」という意識の言葉だった。 学校評価のデータで教職員自身の評価が低いのは、先生たち自身が厳しい自己反省を含めた数値であろう。数値を上げることは大変でもあるが、先生たちの力量 見せ所でもある。

学校評価のデータで教職員目界の評価が低い10/は、先王だら目材か厳しい日に以目で日のに取職しのコッ。 双電で上げるとこいか、 見せ所でもある。 子どもたちの安全面の確保は、地域全体の課題である。安心して通うことができるような通学路のために、自治会でも支えていきたい。